

第31回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和6年12月23日（月曜日）17時00分から18時10分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 会議室A

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹 監査法人ナカチ／公認会計士

川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）

滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士

中山 正晃 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長

三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア 東京2025世界陸上競技選手権大会における路上競技交通誘導警備等業務委託

【資料1】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

（ア）大会における路上競技（マラソン、競歩）の安全確保を図るための業務を委託する。

（イ）主な業務として、交通誘導警備・雑踏警備業務及び雑踏誘導業務を行う。

（ウ）会場・路上競技の運営・警備業務については、それぞれの業務内容の特性に応じて発注方式を選択することとしており、本案件は、既に策定された警備計画に基づき警備員の配置等を行うものであるから、価格における経済性を重視し希望制指名競争入札により事業者を選定する。

<質疑・意見など>

滝 口：運営委託については、マラソンと競歩を切り分けて発注したが、警備委託をマラソンと競歩とでまとめて発注するメリットは何か。

担当者：まとめて一体的に業務を委託することでスケールメリットがある。具体的には、調達した機材類はマラソンと競歩で使い回しすることができる。人件費についても、事前の警察や地元自治体、沿道事業者等との調整をマラソンと競歩の両方を同時に実施することで縮減することができる。

鵜 川：どのような業種の事業者が入札に参加することを想定しているか。

担当者：路上競技の運営経験があるイベント事業者が中心になるかと考えている。

Ⅰ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会イベントプレゼンテーション等実施計画策定 及び運営業務委託【資料 2】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) 大会が観客や選手にとって記憶に残る大会となるよう、観客の盛り上げにつながる効果的な演出や開閉会式、表彰式を実施する。
- (イ) 入札手続きを行った結果、高落札となったため契約締結前に付議する。
- (ウ) 財団において、仕様内容や予定価格設定の妥当性について、改めて問題がなかったことを確認している。また、競争性と公平性が確保され、適正な競争が行われた結果であることを確認している。

<質疑・意見など>

滝 口：価格点に関してはあまり差がなく、技術点で差があったとのことだが、どの辺りで点差がついたのか。

担当者：技術点が高かった事業者は、大会前からの盛り上げの流れや競技の時間だけでなく一日の全体スケジュールを通して盛り上げる演出となっていた点が評価された。

(3) 委員長によるまとめ

- ・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(4) 閉会